

志賀原子力発電所2号機 制御棒の動作確認の実施について

平成22年11月4日
北陸電力株式会社

当社は、明日(11月5日)14時頃より、志賀原子力発電所2号機の一部の制御棒の動作確認を行うこととしましたのでお知らせします。

東京電力(株)柏崎刈羽原子力発電所7号機において、使用済のハフニウムフラットチューブ型制御棒¹にひびが認められたことから、11月1日、原子力安全・保安院から沸騰水型原子力発電所を所有する事業者に対し、同型制御棒を用いて運転している場合は制御棒の動作確認を行うよう求められました。

これを受け、志賀2号機の全制御棒205本のうち、同型制御棒の25本について、明日(11月5日)14時頃より動作確認を実施するものです。

動作確認の作業は3時間程度と見込んでおり、その際発電機出力が若干変動することがあります。

今後も定期的(1回/月)に同型制御棒の動作確認を実施します。

なお、志賀1号機は同型制御棒を現在使用しておりません。

本件は、法令および安全協定には該当しませんが、石川県および志賀町と締結している連絡基準に係る覚書に基づき、本日、当該自治体に連絡しました。

以上

参考資料：原子力安全・保安院の指示内容について

1 ハフニウムフラットチューブ型制御棒

高い中性子吸収能力を有するハフニウムを、平たい筒状に成形して中性子吸収材として使用した制御棒

原子力安全・保安院の指示内容について

原子力安全・保安院の指示内容は以下のとおり。

指示	指示内容の骨子
1	ハフニウムフラットチューブ型制御棒(以下「HfフラットCR」という。)の使用の有無,現在使用している場合にはその本数及び炉内配置状況並びに中性子照射量(現在及び次回定期検査まで使用時)について速やかに報告。
2 -1	現在運転中の原子炉においてHfフラットCRを使用している場合には,構造強度に係る健全性評価及び制御棒の挿入性等の技術基準適合性を含む安全性の評価を行い速やかに報告。
2 -2	至近の定期事業者検査までの間,運転中における当該制御棒の動作確認を行い,その結果を報告。
2 -3	至近の定期事業者検査において当該制御棒のひびの有無について確認を行い,ひびが確認された場合には以下の対応を行い,結果を速やかに報告。 (1) ひびの状況及び発生原因の調査 (2) 製造及び中性子照射量等を含む運転の履歴の調査 (3) 構造強度に係る健全性評価及び制御棒の挿入性等の技術基準適合性を含む安全性の評価
3	現在停止中の原子炉に装荷又は使用済みとして保管しているHfフラットCRがある場合には,ひびの有無について確認し,ひびが確認された場合には(指示2-3)(1)~(3)の対応を行い,結果を速やかに報告。

今回の制御棒の動作確認は、指示 2 -2に対する対応。